資料4

平成31年1月31日
富山県総合政策局国際課

富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン（仮称）策定に関するヒアリング調査の概要について

1 調査の目的

「富山県外国人材活躍・多文化共生推進プラン(仮称)」の策定にあたっての基礎資料とするため、県内外国人住民を取り巻く環境や実態等について、関係団体等からヒアリング調査を行うもの

2 調査対象団体　※( )は団体数

県内企業・団体(11)、大学等教育機関(4)、外国人支援のNPO法人(4)、外国人コミュニティ(9)、外国人児童生徒在籍の小中学校(8)、外国人集住地区の住民(3)　(計39団体)

3 調査時期

平成30年12月～平成31年1月　※今後も、プラン策定過程で必要に応じ、追加調査を実施

4 調査結果(主な意見)

外国人材活躍

【1 高度な外国人材(留学生等)の積極活用】

- 今後、海外進出が本格化すれば、高度人材の採用拡大も検討したい。[企業等]
- 他県の人から、富山県のアセアン留学生の制度を評価する声をよく聞く。[企業等]
- 仕事内容や給料等について、日本企業と留学生の間でミスマッチが生じている。[大学等]
- キャリアプランが見えるように、就職した留学生の5～10年後の姿を知る機会が必要。[大学等]

【2 外国人技能実習制度の利用促進・技能実習生の育成】

- 技能実習生の生活面でも監理団体と緊密に連絡を取り合うことが大切。[企業等]
- 中小企業が海外展開する場合は、技能実習生を受け入れて活かすことが必要であるが、そのためには、温かく迎え入れ、よい関係を築かなければならない。[企業等]

【3 新たな在留資格(「特定技能」)について人手不足分野等での受入れ】

- 法改正によって、外国人が日本で働きやすくなり、日本人も助かると思う。[外国人コミュニティ]
- 労働力不足から外国人材を受け入れるのであれば、日本人と同等の報酬とすべき。[外国人コミュニティ]

【4 その他】

- 日本の労働法令や税制について基本的なことさえ知らない外国人が多い。[企業等]
- 外国人の子どもは、バイリンガルで2つの文化を持つコミュニケーション能力の高い人材である。将来、富山県にとってよい架け橋となる人材である。[支援NPO]

多文化共生の推進

【1 地域におけるコミュニケーションの支援(生活の基盤づくり)】

＜外国語による行政情報、生活情報の提供＞

- 外国人は、日本人以上にスマホやパソコン等で情報を得ている。情報提供方法を工夫すべき。[企業等]
- 多言語で外国人に情報提供するサイトがあるとよい。[外国人コミュニティ]
- 子どもや病院、悩み等について、同じ国の人とFacebookで情報交換している。[外国人コミュニティ]

＜外国語による相談体制の充実＞

- 日常生活の悩みの相談先がわからない、言葉が通じず行政窓口で聞けないという声がある。[支援NPO]
- 行政サービス等について多言語で相談できる窓口が必要。[外国人コミュニティ]
- 企業が外国の文化や習慣、言葉について聞いたり、ワンストップで相談できるところが必要。[企業等]

＜日本語・日本語文化の学習支援＞

- より身近に日本語教室があるとよい。ショッピングセンターの近くや廃校の教室はどうか。[企業等]
- 企業に日本語教室の情報を伝えたいが、外国人を雇用している企業がわからない。[支援NPO]
- 地域で日本語教室を行うためには、リーダー(外国人コミュニティの核となる人)が必要。[日本人住民]

＜ボランティアの育成確保＞

- 日本語教師や日本語教室の担い手は高齢化しており、なり手も不足。処遇改善が必要。[支援NPO][外国人コミュニティ]
- 県内には多くのボランティアグループがあるが、もっと相互連携すべき。[外国人コミュニティ]

【2 教育(外国人児童生徒等)に関する支援】

＜教育の充実＞

- 外国人の子どもは、家では母語、学校では日本語となり、どちらも中途半端になるケースがある。[企業等]
- 学力レベルの差や日本と母国での教え方の差により、親の方が子どもの教育に挫折してしまうことがある。中学生くらいで親と子どもとの間に開きが生じてしまう。[外国人コミュニティ]
- 外国人児童は、外国人相談員がいるときは安心感があるようで、表情や雰囲気が違う。[小中学校]

＜進学＞

- 外国人の保護者が日本の教育システムや高校進学プロセスを理解できていない。保護者が理解していないため進学できない子どもがいる。[支援NPO][外国人コミュニティ][小中学校]
- 外国人の保護者は、高校以上の進学について、授業料等の費用を心配している。[小中学校]
- 高校進学説明会は、全国的にボランティア等が実施しており、運営に苦労している。[支援NPO]

【3 生活支援の充実】

＜医療・保健・福祉＞

- 緊急時に親戚等から借金することが難しいので、一時的なつなぎサポートがあればよい。[外国人コミュニティ]
- 病院等で「言葉の問題で症状がうまく伝えられない」、「病名や治療のことを説明されたがわからない」ことがある。[企業等][外国人コミュニティ]

＜居住・就労環境＞

- 空き家を技能実習生の寮に活用してはどうか。斡旋や改修費等の助成があればよい。[企業等]
- 外国人には自転車を貸与しているが、移動範囲が限られる。別の交通手段が確保できればよい。[企業等]
- 首都圏よりも富山はとても住みやすい。仕事があり、食べ物や水がおいしく、災害が少なく安心。[外国人コミュニティ]

＜災害対策＞

- 外国人住民は避難訓練で避難所まで来るが、日本語の説明しかないため帰ってしまう例がある。[支援NPO]

【4 多文化共生の地域づくり】

＜地域住民への意識啓発等＞

- 地域住民の外国人に対する壁をなくす取組みが必要。たくさんのイベントを企画し、日本人と一緒に進めていきたい。私たちの活動について行政からも広く周知してほしい。[外国人コミュニティ]

＜外国人住民の地域社会への参加促進＞

- 外国人は、お祭りなど地域社会との交流がない。イベント等をきっかけに地域と交流できればよい。[企業等]
- イスラム教徒の女性は、宗教上の理由から男性が多数参加する行事に参加しづらい。[外国人コミュニティ]
- 技能実習生と交流したい。地域と企業のつなぎ役が必要。[日本人住民]

＜外国人との共生による暮らしやすい地域づくり＞

- 外国人住民が身近な地域で困りごとを相談できるように、仲介役(推進員等)がいればよい。[日本人住民]